

柔道しずおか

平成23年3月 静岡県柔道協会発行

事務局 〒420-0911 静岡市葵区瀬名7-2-38 佐々木秀男
TEL 054-265-5272 FAX 054-265-5274

【巻頭言】

より安全な柔道を目指して

静岡県柔道協会 副会長 六段 左口直人



確実に減少しております。なぜ競技人口の減少があるのでしょうか。減少の要因の一つに、「怪我の多さ」があるのではないかと思われま

す。私も大学2年の時に同級生が、講道館の紅白試合において

「首を突っ込む」状態になり、首の第3頸椎・第4頸椎

の骨折脱臼を起こした事故に遭遇しました。彼のその後の

人生は、全身麻痺の状態で寝たきりでした。幾度か見舞

いに行きましたが、人工呼吸器を着け、元氣だった頃の

面影を失った姿を見るたびに悲しく・寂しい思いをしまし

た。残念ながらこの様な事故が、今年も新聞・テレビ・ラ

ジオで報道されるのを多く見聞き致しました。

競技スポーツとしての柔道

は、ある程度の危険とは隣りあわせだと思われま

す。私も指導者の末席に身を置く一人として「多くの部員に試合を

経験させたい」「勝利の味を味あわせたい」という気持ち

から、初心者に未熟と知りつつ試合に参加させた事があり

ました。幸いに大きな怪我もせず「無事」に終わり、事な

きを得ました。この「無事」が、この次は「大丈夫」と云

う考えに変化して、そして「怪我などほしくない」と云う気持ち

になり、自信過剰の考えを持つ様になったと記憶してお

ります。そして、選手の中には大なり小なりの怪我をした

者がおりました。この怪我も、一種の事故だと今振り返ると

思われま

す。本来の武道としての柔道は、礼節を重んじ、相手を思い尊

ぶと同時に自分自身の身を守るものだと思います。つま

り、勝負の勝ち負けの前に礼節や相手を尊ぶ事や感謝の気

持ちなどを身に付けさせることが基本ではないでしょうか。

そして、本来の一本を取る柔道を目指し、瞬時の技に対応

する受身を身に付けさせる事が必要だと思われま

す。この一本を取る柔道や瞬時の技に対応する受身は、多くの経験

の中から身に付けるものだと思います。その体験の場所

を試合に求めるのではなく、稽古において作り上げること

が必要ではないかと思われま

す。指導者として、選手の一

本を取る柔道や瞬時の技に対応する受身の動作を見極め、

段階的に稽古相手を変えさせ、怪我のない選手を育成する事

が大きな使命ではないかと思われま

す。そして、武道本来の柔道を目指し心身共に成長

させ、社会に貢献できる人間育成が「柔道」の大きな役割

であり、そのことが、柔道競技人口の増加にも大きく関わる

事ではないでしょうか。



国体報告

第65回国民体育大会柔道競技報告

平成22年度第65回千葉国体の様子を監督を務めた静岡県警察の渡辺達也氏から報告してもらう。



静岡県チーム

総監督	野田昭一	静岡県柔道協会理事長
総務	勝呂良三	吉原商業高校教諭
トレーナー	鈴木千春	内村はりきゆう治療院
監督	渡辺達也	静岡県警察
コーチ	大村恭一	静岡県警察
先鋒	漆畑 良	東海大学4年
次鋒	眞野洋光	静岡県警察
中堅	滝川英克	国士舘大学4年
副将	齊藤和仁	静岡県警察
大将	増田圭省	静岡県警察

	静岡県	2	対	3	埼玉県
先鋒	漆畑		指導2	⊖	田中
次鋒	眞野	⊖	内股		赤迫
中堅	滝川		指導2	⊖	手塚
副将	齊藤		大外刈	⊖	新井
大将	増田	⊖	裏投		濱島

第六十五回国民体育大会柔道競技は、平成二十二年十月一日から三日の間、千葉県成田市のサウンドハウス・スポーツセンターにおいて開催されました。本年は八月に開催された東海ブロック予選で成年女子及び少年男女が敗退したため、成年男子のみの出場となりました。試合は、体重別で行う五人の団体戦で行われ、静岡県は、二回戦からの出場で過去十年で二回の優勝実績のある埼玉県との



試合中の眞野選手

対戦となりました。過去三年とも五位入賞を懸けた三回戦で惜敗しているだけに今年こそはと選手一丸となって試合に臨みました。○先鋒(60kg以下) 漆畑 良(東海大学) 組手の上手い相手に自分のいいところを持たせてもらえず、後退したところを2回指導を受ける。後半攻めるも時間切れとなる。○次鋒(73kg以下) 眞野洋光(静岡県警察) 試合巧者の相手であったが開始二分五十秒、相手の右内股を

透かすようにしてかわし切れ味鋭く逆に投げ返す。審判合議となるが技ありを与えられそのまま試合終了。公式記録の決まり技は「内股」。○中堅(90kg以下) 滝川英克(国士舘大学) 先鋒同様なかなか自分の組手にさせてもらえず、左小外掛で惜しい場面もあったが、2回の指導を受け敗退。○副将(90kg超) 齊藤和仁(静岡県警察) 前半積極的に攻め立て指導が相手に与えられるも後半守りに回り、開始三分に大外刈で技ありを奪われそのまま時間切れ、チームは3敗目を喫する。○大将(無差別) 増田圭省(静岡県警察) 今年から静岡県警察として全国デビューを果たした増田選手は、積極的に技を仕掛け、開始一分十秒相手の技を受け止め、裏投で技ありを奪い勝利する。試合は二対三で敗れたものの強豪の埼玉県相手に一進一退の試合を繰り広げ、国体の舞台で静岡県の強さを示すことができ



成年男子メンバー

ました。課題としては、勝利するには、いかに早く組勝ち、いかに早く相手より先に技を仕掛けることができるかにかかっていると思われ、攻撃柔道に徹することの重要性を感じております。更に精進を重ね最強・最高のチーム作りに励みたいと存じます。関係各位に感謝を申し上げますと共に平成二十三年の活躍を誓い、大会結果の報告をさせていただきます。ありがとうございました。(文責 渡辺達也)

第31回国体東海ブロック大会

平成22年8月22日 大垣武道館

静岡県選手団

- 総監督 野田昭一 (静岡県柔道協会強化委員長)
- 審判員 米山安基夫七段 (静岡県警察)
- 審判員 渡辺達也七段 (静岡県警察)
- 審判員 大村恭一六段 (静岡県警察)

少年女子

- 監督 西川勝啓 (裾野高校教諭)
- コーチ 磯部拓美 (庵原高校教諭)
- 選手 神山結理 (市立沼津高校)
- 村瀬由樹 (静岡学園高校)
- 岩崎光希 (東海大翔洋高校)
- 伊藤美麗 (藤枝順心高校)
- 村山のどか (市立沼津高校)

少年男子

- 監督 小柳津敬博 (東斐翔洋高校教諭)
- コーチ 宮本昌人 (常葉高校教諭)
- 選手 加賀谷太郎 (藤枝明誠高校)
- 伊久美 新 (静岡学園高校)
- 細川敦大 (浜松商業高校)
- 渡辺 漢 (浜松商業高校)
- 鈴木翔也 (浜松商業高校)
- 黒川誠司 (新居高校)
- 石田 亘 (浜松商業高校)
- 田中健登 (東海大翔洋高校)
- 長嶋 司 (静岡学園高校)
- 村山 拓 (市立沼津高校)

成年女子

- 監督 勝呂良三 (吉原商業高校教諭)
- 選手 鈴木香澄 (名城大学)
- 岩澤胡桃 (愛知産業大学)
- 土屋文香 (東海大学)

結果

成績は成年女子2分け1敗で3位、少年男子は3敗で4位、少年女子は1勝2敗で3位だった。1位のみが本大会出場権を得られるので、残念ながら出場権を得ることはできなかった。

第52回

静岡県柔道祭開催

平成22年5月9日(日)
静岡県武道館

今年度の柔道祭が5月9日(日)、静岡県武道館で開催された。他の大会との関係で例年より少し遅れた時期での開催となった。小学生の部から一般の部まで県内の柔道愛好家が一堂に集まる唯一の大会となっている。

恒例の柔道協会表彰が行われ、

特別功労賞4名、永年功労賞3名、功労賞3名の表彰が行われた。

形の競技には投げの形・護身術の形各2組、固めの形・柔の形・五の形・古式の形各1組が参加され、日頃鍛えた形を披露してくれた。

形に続いて競技が開始された。高校男子の1回戦が6会場で実施され、その後各会場で各部の試合が行われた。例年のことではあるが、スタンドから大きな声援が送られ、決勝戦まで熱気あふれる試合が行われた。試合結果や表彰者は以下の通り。

平成22年度静岡県柔道協会表彰

《特別功労賞》

- 七段 石黒金次
- 七段 風岡儀一
- 六段 故橋本章
- 五段 大石鐵夫

《永年功労賞》

- 七段 栗原孝雄
- 六段 芝原健夫
- 五段 森下修

《功労賞》

- 五段 稲葉清吉
- 三段 猪原生男
- 二段 桑山和夫

第52回静岡県柔道祭成績 団体成績

小学校の部

- 1位 育誠館
- 2位 大仁柔道会
- 3位 静岡錬心館
- 3位 神士館

中学校の部(男子)

- 1位 静岡学園中学
- 2位 東海大翔洋中学
- 3位 高台中学
- 3位 藤枝明誠中学

中学校の部(女子)

- 1位 大仁柔道会
- 2位 神士館
- 3位 東海大翔洋中学
- 3位 藤枝順心中学

高校の部(男子)

- 1位 浜松商業高校
- 2位 静岡学園高校
- 3位 加藤学園高校
- 3位 市立沼津高校

高校の部(女子)

- 1位 藤枝順心高校
- 2位 東海大翔洋高校
- 3位 浜松商業高校
- 3位 静岡学園高校

一般の部

- 1位 静岡産業大学A
- 2位 静岡産業大学B
- 3位 富士市柔道会
- 3位 葦山柔道教室

優秀選手 小学校の部

- 長屋 友(育成館)
- 溝口 透(大仁柔道会)

中学校の部(男子)

- 佐藤和哉(静岡学園中学)
- 矢萩大貴(東海大翔洋中学)

中学校の部(女子)

- 吉長桃子(神士館)

高校の部(男子)

- 鈴木翔哉(浜松商業高校)
- 伊久美 新(静岡学園高校)

高校の部(女子)

- 松川美世(藤枝順心高校)
- 岩崎光希(東海大翔洋高校)

一般の部

- 濱浦祐貴(静岡産業大学A)
- 伊藤陽介(静岡産業大学B)

講道館柔道「形」最優秀

投の形

- 取 渡部成也(静岡県警察)
- 受 荒木孝介(静岡県警察)

固の形

- 取 川島伸夫(福田柔道クラブ)
- 受 伊藤厚志(福田柔道クラブ)

柔の形

- 取 白井康二(湖西市体育協会)
- 受 白井恵子(湖西市体育協会)

講道館護身術

- 取 黒田英樹(県柔道整復師会)
- 受 渡邊武彦(藤枝柔道クラブ)



実技指導中の村田先生

14時から開会式が行われ挨拶や講師紹介に続き講師の講話が行われた。

金野 潤五段 日本大学柔道部監督

講師 村田正夫六段 びわこ成蹊スポーツ大学柔道部監督

柔道教室

第22回マルちゃん杯 中部少年柔道大会

五の形 取 西島温行(福田柔道クラブ) 受 磯部正博(福田柔道クラブ) 古式の形 取 渡辺達也(静岡県警察) 受 小野瀬康行(静岡県警察)

6月5日(土)

浜北総合体育館

講話に続いて各講師から得意技の披露と実技指導が行われた。大会

6月6日(日) 浜北総合体育館

岐阜県の少年大会と日程が重なり岐阜の参加チームが少なかつたが、それでも中部地区の精鋭が集まり、全国大会出場を目指し熱戦を繰り広げた。静岡県内チームも頑張り、静岡学園中学と東海大学翔洋中学が全国大会出場を決めた。

静岡県成年柔道体重別選手権大会(国体選手候補選考会)

7月10日(土)

静岡県武道館

例年以上に大学生の出場が多く、盛り上がりを感じた大会であった。特に、90kg級で友愛道場の滝川選手が準決勝で長く本県の柔道会を支えてくれている小椋選手(静岡県警察)を破り、その勢いで決勝でも同じ大学生の山下選手(東洋大)に勝ち優勝したのは見事であった。この大会の結果を参考に県国体チームが編成された。

柔道協会 優秀選手表彰

静岡県柔道協会優秀選手表彰式が11月27日ホテルシテイオ静岡で例年通り行われた。

今年度の対象者は新人選手紹介コーナーで取り上げている以下の選手である。佐藤和哉君(静岡学園中学校) 第41回全国中学校柔道大会男子個人選90kg級準優勝、滝川真央さん(沼津市立原中学校) 第41回全国中学校柔道大会女子個人選70kg超級3位、吉澤駿君(静岡学園高等学校) 第59回全国高等学校総合体育大会柔道競技男子個人66kg級3位、井口采美さん(浜松商業高校) 第59回全国高等学校総合体育大会柔道競技女子個人57kg級3位の4人です。



優秀選手を囲んで

安齊会長の挨拶に続き、各選手を表彰した。最後に選手を代表して佐藤君から挨拶があり、集合写真を撮影した後閉会した。



表彰された4選手

各種大会の報告

第32回全国高等学校柔道選手権大会

3月20日(土)・21日(日)

日本武道館

男子団体 浜松商業高校

2回戦敗退

女子団体 藤枝順心高校

5位

男子個人

60kg級

吉澤 駿(静岡学園高校)

2回戦敗退

73kg級

石田 亘(浜松商業高校)

1回戦敗退

81kg級

石井都百希(日大三島高校)

5位

90kg級

細川敦大(浜松商業高校)

2回戦敗退

無差別級

南口優太(加藤学園高校)

1回戦敗退

女子個人

52kg級

神山結理(市立沼津高校)

5位

57kg級

松川美世(藤枝順心高校)

5位

63kg級

原田祐花(静岡学園高校)

1回戦敗退

70kg級

清 貴凜(浜松商業高校)

3回戦敗退

無差別級

中村 優(藤枝順心高校)

3回戦敗退

第25回全日本女子選手権大会

4月18日(日)

横浜文化体育館

岡田紘味(東海・静岡産大)

初戦敗退

平成22年度
静岡県大学高専春季大会

5月3日(月・祝)
静岡市北部体育館

団体の部 優勝

静岡産業大学B

個人の部

81kg超級 優勝

内田武三士(静岡産業大学)

81kg以下級 優勝

遠藤 仁(静岡産業大学)

66kg以下級 優勝

久田章太(東海大学)

女子の部 優勝

福澤玲美(静岡産業大学)

無段の部 優勝

石川 貢(静岡文化芸術大学)

関東警察柔道大会

6月24日(木)

関東管区警察学校

団体戦

B組 準優勝 静岡県警察

東海形選手権大会

7月4日(日)

大垣武道館

投の形

取五段 渡部成也

受五段 荒木孝介

3位

固の形

取四段 川島伸夫

受四段 伊藤厚志

極の形

取五段 森下良男

受五段 高林祐介

柔の形

取七段 白井康二

受四段 白井恵子

講道館護身術

取七段 黒田英樹

受五段 渡邊武彦

古式の形

取七段 渡辺達也

受七段 小野瀬康行

2位

東海ジュニア試合成績

7月11日(日)

大垣武道館

1位選手は全国大会に出場

全国大会9月18日(土)19日(日)

埼玉県武道館

男子

55kg級

鈴木優希(常葉学園橘高校) 1位

60kg級

大木恭介(静岡学園高校) 4位

66kg級

南口優太(加藤学園高校) 1位

全国大会2回戦敗退

73kg級

伊久美 新(静岡学園高校) 2位

81kg級

芹沢孝哉(市立沼津高校)

90kg級

関根龍成(静岡産業大学)

100kg級

宿輪幸治(静岡産業大学)

100kg超級

鈴木翔哉(浜松商業高校)

女子

44kg級

星名志保(浜松商業高校)

48kg級

伊藤未麗(藤枝順心高校)

52kg級

神山結理(市立沼津高校)

57kg級

長嶋麻未(市立沼津高校)

63kg級

原田佑花(静岡学園高校)

70kg級

清 貴凛(浜松商業高校)

78kg級

村瀬由樹(静岡学園高校)

78kg超級

中村 優(藤枝順心高校)

81kg超級

石井都百希(日大三島高校)

第35回全国教員柔道大会

8月1日(日)

山口県萩市萩市民体育館

1回戦

静岡2-3沖縄

監督 須田直之(清水東高校)

先鋒 田力秋洋(下田高校)

次鋒 山崎大介(磐田南高校)

中堅 井口往彦(浜北西高校)

副将 高田幸治(城南静岡高校)

大将 大場章吾(沼津商業高校)

全国高等学校柔道大会

8月8日(日)~12日(木)

沖縄県立武道館

男子団体

静岡学園高校

女子団体

静岡学園高校

男子個人

黒川誠司(新居高校)

60kg級

66kg級

吉澤 駿(静岡学園高校)

73kg級

石田 亘(浜松商業高校)

81kg超級

石井都百希(日大三島高校)

90kg級

細川敦大(浜松商業高校)

100kg級

渡辺 漢(浜松商業高校)

2回戦敗退

100kg超級

鈴木翔哉(浜松商業高校)

女子個人

伊藤美麗(藤枝順心高校)

48kg級

第5位(ベスト8)

52kg級

神山結理(市立沼津高校)

57kg超級

井口采美(浜松商業高校)

63kg級

原田祐花(静岡学園高校)

70kg級

村山のどか(市立沼津高校)

78kg級

村瀬由樹(静岡学園高校)

78kg超級

中村 優(藤枝順心高校)

3回戦進出(ベスト16)

全国中学校柔道大会

8月19日(木)~22日(日)

松江市総合体育館

男子団体戦(予選リーグ)

静岡学園中学校 3-2

静岡学園中学校 4-0

大正東

決勝トーナメント 静岡学園中学校 1-4 国士館	女子団体戦(予選リーグ) 東海大翔洋中学校 0-3 大刀洗	東海大翔洋中学校 3-0 秦荘	男子個人戦	55kg級 小林駿平(静岡学園中学校) 1回戦敗退	60kg級 梅澤真仁(東海大翔洋中学校) 2回戦敗退	66kg級 高田拓海(静岡学園中学校) 3回戦敗退	73kg超級 星野圭祐(静岡学園中学校) 2回戦敗退	81kg級 植田蒼太郎(浜松高台中学校) 2回戦敗退	90kg級 佐藤和哉(静岡学園中学校) 準優勝	90kg超級 清水圭三郎(藤枝明誠中学校) 1回戦敗退	女子個人戦 44kg級 繁田青夏(藤枝順心中学校) 1回戦敗退
--------------------------------	-------------------------------------	--------------------	-------	---------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------------

48kg級 鈴木 楓(藤枝順心中学校) 1回戦敗退	52kg超級 田中茉衣(浜松高台中学校) 1回戦敗退	57kg級 渡辺明里(大仁中学校) 2回戦敗退	63kg級 佐藤幸世(市立沼津中学校) 1回戦敗退	70kg級 遠田真子(東海大翔洋中学校) 第5位(ベスト8)	70kg超級 滝川真央(沼津原中学校) 第3位	第7回全国小学生学年別柔道大会 8月22日(日) 北海道立総合体育センター			5年男子45kg級 伊藤柚汰(育誠館) 2回戦	45kg超級 渡辺将一(錬心館) ベスト16	5年女子40kg級 鶴巻 実(神土館) 2回戦	40kg超級 井上明日香(神土館) 2回戦	6年男子50kg級 杉本誠太(藤枝柔俱) 2回戦	50kg超級 岩倉優輝(大東柔ク) 2回戦
---------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	---------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------	----------------------------------------------------	--	--	-------------------------------	------------------------------	-------------------------------	-----------------------------	--------------------------------	-----------------------------

6年女子45kg級 菅谷友紀(育誠館) ベスト16	45kg超級 嘉地唯花(藤枝柔俱) ベスト8	平成22年度 全国警察柔道大会 9月16日(木) 日本武道館		第2部 準優勝 静岡	団体の部 優勝 静岡産業大学A	個人の部 81kg超級 優勝 岡田拓磨(静岡産業大学)	81kg級 優勝 大木 翔(静岡産業大学)	66kg級 優勝 今 関人(静岡産業大学)	女子の部 優勝 栗田実季(静岡産業大学)	無段の部 優勝 花城拓史(沼津高専)	第27回静岡県 大学高専柔道秋季大会 11月3日(水・祝) 静岡市北部体育館		
---------------------------------	------------------------------	-------------------------------------------------	--	------------	--------------------	-----------------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------------------	-----------------------	---------------------------------------------------------	--	--

第59回全国青年大会 柔道競技大会 11月13日(日) 講道館大道場	静岡県代表 浜北柔道協会	個人戦 無差別級 優勝 井口信彦 準優勝 本田真敏	73kg級 4位 高林裕樹	団体戦 1回戦 静岡県対福岡県 2対② (代表戦ゴールデンスコア負け)	高校新人戦の結果 平成23年1月15日(土) 県武道館			男子個人戦 60kg級優勝 吉竹尚城(常葉学園橘高校)	73kg級優勝 立川功大(東海大学翔洋高校)	81kg級優勝 田中健登(東海大学翔洋高校)	90kg級優勝 山本雄也(浜松商業高校)	無差別級優勝 森田悠斗(沼津市立沼津高校)	女子個人 52kg級優勝 岡本理帆(藤枝順心高校)	57kg級優勝 松川美世(藤枝順心高校)
---------------------------------------------	--------------	---------------------------------	------------------	-------------------------------------------	------------------------------------------	--	--	-----------------------------------	---------------------------	---------------------------	-------------------------	--------------------------	---------------------------------	-------------------------

63kg級優勝 原田祐花(静岡学園高校)	70kg級優勝 村山のどか(沼津市立沼津高校)	無差別級優勝 中村優(藤枝順心高校)	3月20日、日本武道館で行われる全国大会に出場する。 男・女団体戦 平成23年1月22日(土) 県武道館	男子団体戦優勝 静岡学園高校 女子団体戦優勝 藤枝順心高校 3月21日、日本武道館で行われる全国大会に出場する。	速報 静岡県柔道選手権大会 平成23年2月12日 県武道館			静岡県柔道選手権大会で増田圭省選手(静岡県警察)が優勝し、2位の小椋俊彦選手(静岡県警察)とともに、東海予選に出場する。女子は、村瀬由樹選手(静岡学園高)、村山のどか選手(沼津市立高)が出場する。	速報 少年柔道団体選手権大会 平成23年2月27日 県武道館			優勝 静岡錬心館 平成23年5月4・5日に講道館で開催される全国大会に出場する。
-------------------------	----------------------------	-----------------------	---------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------	--------------------------------------------	--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------	--	--	---------------------------------------------

平成22年度 「柔道ルネッサンス・フォーラム」報告

日時 平成22年5月14日(金)
場所 講道館

オリエンテーション

フォーラム開催の趣旨

柔道ルネッサンス部会長

寺澤豊志

各都道府県の活動に関する情報交換、問題点の確認、今後の活動計画を考える場、機会にしてほしいとの趣旨説明がされた。

開講講演

「柔道ルネッサンスが目指した

もの」

筑波大学名誉教授 中村良三氏

柔道ルネッサンス活動が始まった経過、活動の目指す事柄について最初に唱えた中村良三先生から説明がなされた。

柔道ルネッサンス活動事例発表

山形県柔道連盟

神奈川県柔道連盟

富山県柔道連盟

過去に表彰された県の活動内容が各県の担当者から説明された。

意見交換会Ⅰ

ブロック別討論会(北信越・東海ブロックに参加)

各県の活動内容を説明し、今後の活動のあり方について討論をし、課題や解決法を考えた。

ブロック別討論会発表

6ブロックの討議の内容が発表された。

1日目の感想

柔道ルネッサンス活動については当然知っているし、活動もしていたが、今回改めてその出発の様子を当事者から説明を受けて活動の必要性を感じた。

特に、各都道府県での「組織作り」の重要性が強調されていたが、静岡県では広報普及委員会の宮崎が担当しているが、正式に組織だつて活動はなされていない。今後の課題だと思ふ。

現実的には広報普及委員会内に分野ごとに担当を決め組織を作っていくことが考えられる。各都道府県で実施している内容については、静岡県でも実施

していることが多かった。挨拶の中で行われるルネッサンスに関連したスピーチなどは、多少マンネリ化している所もあり、今後の課題と感じた。



フォーラムに参加した田辺・山下氏

柔道ルネッサンス10年間の歩みと今後の課題

講道館企画室長

古志田 憲一氏

柔道ルネッサンス活動として取り組んだ内容を時系列で紹介していただき、今後の活動への課題を提示された。

基調講演

「柔道を通じた人づくり」

柔道ルネッサンス特別委員会

委員長 東海大学教授

山下 泰裕氏

柔道ルネッサンス活動に対する山下氏の思いを語られた。最

初にご自身の柔道や指導者との出会い(中学校時代の白石氏、高校大学時代の佐藤氏)を通して学ばれたことを話された。次に柔道ルネッサンス活動を始めた経過を話され、活動の目指す所を語られた。

全日本クラスの選手のエピソードやオリンピックの時の裏話などを織り交ぜながら分りやすくルネッサンス活動の意義を語られた。

意見交換会Ⅱ

テーマ別討論会

第1分科会参加「柔道が持つ教育的価値の伝え方は」

最初に柔道の持つ価値とは何かについて討議した。参加者がどんなところで指導をし、価値を感じているかを話し

合い①技術・体力向上面での価値②伝統文化的な価値③人間教育・人づくりの面での価値が考えられた。

伝える場としては、

学校(中学校・高校)

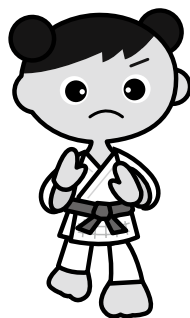
柔道「体育授業時の柔道・部活動時の柔道」

道場での柔道「少年柔道・一般柔道」、警察、

社会人(企業)が考え

られる。

指導者は、嘉納先生の教えを正しく理解し、生徒・子ども・保護者にしつかり伝えたいといけないこと、練習や試合での事故に十分注意することなどが各自の体験に基づき話された。



討論会報告

5つの分会からの報告がなされた。

柔道ルネッサンス宣言2010
柔道ルネッサンス部会会長

寺澤 豊志

柔道ルネッサンス宣言2010

1. 指導者自らが襟を正し、「己を完成し、世を補益する」ことを実践します。
1. 理にかなった技の習得、「一本」をとる柔道を目指します。
1. 老若男女が親しめる、安全に配慮した柔道の普及・発展に努めます。
1. 美しい礼、正しいマナーで、品格ある柔道人を育てます。

平成22年5月15日
柔道ルネッサンス特別委員会

まとめ

全日本柔道連盟専務理事

小野沢 弘史

修了書授与

2日目の感想

正しい柔道(嘉納先生が考えられた)をしつかり理解し、指導者や保護者に伝えていきたい

柔道教養講座 「嘉納師範に学ぶ」報告

静岡県柔道協会主催平成22年度柔道教養講座「嘉納師範に学ぶ」を平成22年11月6日(土)静岡県武道館で開催したのでその様子を報告する。

静岡県柔道協会主催、静岡県教育委員会・静岡県武道協議会・静岡新聞社・静岡放送後援で柔道教養講座「嘉納師範に学ぶ」



講師の村田直樹先生

と、児童・生徒には伝わっていない。そして、具体的にどのよう伝えていくのかを考えていかななくてはならない。限られた条件の中で難しいことではあるが、できることを少しずつでもやるしかないと思う。静岡県でも組織作りを行い、スピーチ活動の充実を考えていきたい。

と題してパネルディスカッションを行った。

1. 講演「嘉納治五郎師範に学ぶ」私達は柔道をどのように理解しておけばよいのか

村田先生自作のパワーポイントや資料を用いながら講演が開された。

資料の目次は次のようにまとめられていた。

I. 柔道の誕生↓5つの理由↓4つの疑問と1つの感嘆 II. 普及の契機↓警視庁武術大会の勝利

III. 創始者の横顔↓本人・家族・知人・門人・外国人等の声

IV. 制度行事の整備↓形・五教の技・試合・段位・鏡開式等

V. 修行者数↓KDN・AJJ F・IJF

VI. 武道の禁止から競技スポーツとして復活↓JUDOへの道

VII. 競技スポーツの発展原理 ↓SDCMS

VIII. 武道教育の技と心↓心の中心は少なくとも3つある IX. 修行かスポーツか↓発祥国の宿命と知恵 X. 現代社会論↓期待される国士の育成

最初に歴史を研究する場合、共通に理解しなくてはならないポイントとして、①直接体験できないので常に「あやしい」ということを意識すること、②今回の講義では嘉納師範本人の記録を基にして考察していく、の2点が強調され、今日の講演も「鵜呑み」にしないでほしいと研究者らしく語られた。

前半は柔道成立の歴史が語られた。特に4つの疑問と1つの感嘆という話は面白く説得力があった。「柔の理」だけでなく「心身の力をもっとも有効に使うこと」を柔道の原理とする話は新鮮であり納得できた。

また、嘉納先生が長年書かれていた英文の日記が存在し、その解説がなされていないこともはじめて知った。早く研究が進むことを期待したい。

戦後、学校武道が禁止され、競技スポーツとして復活し、JUDOへと発展していくところの解説も興味深かった。

「武道教育の技と心」では、特に3つのポイントを話された。

①運動に伴う心、②勝負に即した心、③伝統の心、の3つであるが、柔道を指導する立場のものとしてははっきりと意識しておかなくてはならない点だと感

じた。

「修行かスポーツか」では、日本は柔道発祥の国として宿命があり、知恵が求められているとの解説がなされた。特にルールについて、村田先生は講道館柔道試合審判規定とIJF規定の「すみ分け」を主張されていた。

柔道の目的に関して村田先生は「国士の育成である」ことを強調された。戦後65年の中で自己中心的な態度や目に余るマナー違反が日常的に見られるようになってきており、これらを改善するのに武道教育が役立つのではないかと提案された。

2. パネルディスカッション

コメントーター

村田直樹先生

パネリスト

安齊悦雄 (静岡県柔道協会会長)

田中秀幸 (静岡大学名誉教授)

溝口紀子 (静岡文化芸術大学准教授)

伊藤武治 (県立浜松東高等学校教頭)

川合達彦 (浜松市立鹿玉中学校教諭)

司会 佐々木秀男

(静岡県柔道協会事務局長)

3. 受講者の感想・意見（一部抜粋）

・2年ほど前から授業で教えるために柔道を学んでいる。まだ月日も浅く柔道をよく知らないで、生徒に教えるにあたってきちんと学びたいと日々思っていた。（略）今回嘉納師範の思いや講道館柔道の成り立ちなどを聞くことができ指導しやすくなった。

・今回のような講座が大切だと考える。単なる技術力の強化のみの追及ではなく、柔道思想をきちんと身に付けることが柔道家の使命とも考える。

・今回は指導者が対象だったが、中学生・高校生・大学生・一般の柔道愛好家等にも聞かせたい内容も多かった。機会があれば多くの方が参加できる講習会をお願いしたい。

4. まとめ

午前の講義で講道館柔道の成り立ちとその価値を再確認することができ、午後のパネルディスカッションを通して、今静岡県で何が問題になっているのか改めて考えることができた。平



村田先生を囲んで

成22年5月14日・15日に東京で開催された柔道ルネッサンスフォーラムでも嘉納先生の教えを正しく理解し伝えていくことの大切さが強調されたが、今回改めてその必要性を感じた。各県でも競技力向上は当然やられていくと思う。しかし柔道のさらなる普及と発展の為に、今回の様な講座を実施し指導者が柔道の心を学び伝えていく努力が求められている。講道館でも積極的にバックアップしていただきたいと思う。充実した時間を過ごすことができ、もっと詳しく話を聞きたいと思ったのは私だけでは無かったと思う。貴重な講義をしていただいた村田先生ありがとうございました。

救急講習会開催

静岡県少年柔道連絡協議会が主催し、浜松市消防局の協力を得て平成22年9月5日浜松市武道館で救急講習会が開催された。指導者30名、選手220名、父兄50名の300名の参加があった。講習会の様子を西部地区の菅谷和彦さんに報告していただく。

今年には県内の函南町・隣県長野県で中学柔道の活動中に痛ましい事故が起こり、柔道事故の多発が懸念されている。危険予知と危険回避義務について書かれている「柔道の安全指導」の冊子が全柔連から出された。指導者には事故直後に適切に対応する事や、安全に関する知識や正しい救急法の知識が求められる。また、中学校での武道必修化の完全実施もあり、指導者は柔道の事故防止に努めなくてはならない。

そんな中、今回その対応策の



講習会の様子

一つとして救急講習会が実施された。浜松市消防局の協力を得て、消防士4名に指導をお願いした。具体的には、救急車到着前の応急処置を行う上での注意点や処置の仕方を実演を交えて指導していただいた。脳しんとその回復後に再度頭部を打つと病状が重大になりやすいことや、首の骨折が疑われる場合の処置の仕方など小学生にも分かり安く指導していただいた。その後、AEDの使用法や、熱中症への対策方法なども教えていただいた

た。

受講した指導者の感想としては次の様なものがあつた。・今後も定期的の実施していただきたい。

・子どもたちも何かあれば早めに連絡してくれると思う。・身近で起こりうることなので気を引き締めて対処しなくてはならない。

多くの指導者が継続的にこの様な講習会を開催して欲しいという希望を持っていた。多くの指導者が受講し、子どもたちも受講すれば、事故やその後の悪化を少しでも減らせるのではないかとと思う。



実技指導の様子



長泉柔道会

- ②長泉町立長泉中学校、長泉北中学校
- ③〒411-0944 駿東郡長泉町竹原109の1 ☎055-986-7745
- ④永田正義
- ⑤小学生15人 中学生5人 大学・社会人10人

県内各地でがんばっている「道場」を各地区2道場ずつ紹介します。

道場紹介

- ①名称
- ②住所(練習場所)
- ③連絡先
- ④代表者氏名
- ⑤所属人数

⑥道場紹介

昭和47年4月に柔道会が発足して現在まで38年の永きに亘り継続されて参りましたが、今年度の6年生が卒業しますと、来年度は団体戦が組めなく成り苦慮しております。

幼稚園から、小、中、高校生、一般の方で柔道に興味をお持ちの方は是非参加お願いします。練習日は、月曜、金曜日は北中、水曜日は長泉中の両道場に於いて、午後7時から9時迄練習しております。

今後共、上部団体の先生達の指導を仰ぎ、精進努力して参ります。宜しくお願い申し上げます。

*写真説明
平成21年夏
古賀稔彦先生柔道教室に参加
御殿場市
国立中央青年の家に於いて



清水町柔道会

- ②駿東郡清水町堂庭287-1 清水町体育館内
- ③〒410-0022 沼津市大岡3890 ☎055-922-8787
- ④宮本達夫
- ⑤児童1人 小学生32人 大学・社会人29人

⑥道場紹介

昭和46年より開催された町柔道教室(指導者・平井弥一郎、佐野光弘)が本会の始まり。その後当時の平井喜久夫町長、加藤寿津實8段を中心に柔道愛好者が集い、柔道教室を発展解消し、昭和51年6月現在の組織が設立されました。

小中学生の育成、柔道愛好者の活動の場として今日に至っています。子供を筆頭に、ここで柔道を習い指導者になった、社会人になって始めた、帰省したので顔を出す学生、いろいろな世代が共に汗を流しています。

清水柔道倶楽部

- ②静岡市清水区折戸3-20-1 東海大翔洋高校
- ③〒424-0858 静岡市清水区大沢町6-1 ☎054-352-8915
- ④山梨公良
- ⑤児童7人 小学生18人 中学生7人 大学・社会人6人

⑥道場紹介

清水体育協会柔道部から、静岡市・清水市合併に伴い2003年4月より清水柔道倶楽部に名称を変更し、継続して活動しております。



活動場所は、火・木・土曜日 東海大学翔洋高校柔道場、水曜日は清水武道館にて、午後7時から9時まで幼児から小学生・中学生と和気藹々の中、大声を出して楽しみながら、苦しさも味わえる練習をし、他県への遠征も実施しております。少しでも興味のある御家庭は、いつでもお気軽に見学しに来て下さい。



しぞ〜か城北柔士会

- ② 静岡市葵区安東三丁目 13
安東中学校柔道場
- ③ 〒 420-0886
静岡市葵区大岩一丁目 3 - 30 (兵藤)
☎ 054 - 248 - 3618
- ④ 杉山元彦
- ⑤ 児童3人 小学生30人 中学生5人
高校生6人 大学・社会人14人



⑥ 道場紹介
私達は平成20年から静岡安東中学を拠点に毎週3回月・水・金曜日、稽古に励んでおります。歴史は浅いものの私達の道場には故西田亀九段直筆の「勇魂美技」の額が掲げられております。西田先生の魂とともに一人でも多く、地域の人々に柔道に触れて頂けるよう創意工夫しております。

残念ながら安東中学柔道部は来年度から廃部となってしまうましたが、近い将来の部活動復活と子供たちの進む道を切り拓くため、更なる情熱と使命感をもって元氣よく柔道普及に努めて参ります。

随時新規入会者を募っております。初心者・経験者・老若男女を問いません。

⑥ 道場紹介
三ヶ日少年少女柔道教室は昭和50年に三ヶ日体協柔道部の牧野晴行氏が中心となり三ヶ日町内への柔道の幅広い普及と青少年の健全育成を目的とし発足しました。当初は三ヶ日中学の柔



三ヶ日少年少女柔道教室

- ② 浜松市北区
三ヶ日町都筑 3116 - 24
- ③ 〒 431-1415
浜松市北区三ヶ日町岡本 1764
☎ 053 - 525 - 0666
- ④ 外山幸久
- ⑤ 児童2人 小学生8人 中学生5人
大学・社会人10人

道場を借りて練習していましたが平成5年に総合スポーツ施設B&G海洋センターのオープン後、2階の柔道場にて練習しております。

練習日は毎週火・土曜日のPM7:30〜PM9:00で、幼児から一般まで幅広い年齢層が一緒に練習しています。近年柔道教室の卒業生が親となり、子供と一緒に練習へ参加してくれるケースが増えていきます。

豊田柔道クラブ

- ② 静岡県磐田市立野 200
(豊田南中学校)
- ③ 〒 438-0831
静岡県磐田市新屋 16 - 3
☎ 0538 - 35 - 0202
- ④ 鈴木敏幸
- ⑤ 児童1人 小学生26人 中学生8人
高校生2人 大学・社会人27人

⑥ 道場紹介
今年で創立38周年を迎える豊田柔道クラブは現在、幼児〜小学生27人・中学生〜一般38人の団員が所属しています。練習は毎週火・金曜日で、幼児〜小学生は7時から1時間半、中学生〜一般は8時30分から1時間程度ですが、元気に楽しく武道に励んでいます。



柔道の修練を通じて、ただ柔道が強くなる事だけでなく、「礼儀正しく、仲間を大切にして何にでも頑張れる子」を目標に日々努力しています。

今後も、礼儀やあいさつを大切にしてお取り組み進んでいきますので、柔道協会役員・各道場の皆様のご指導ご協力をお願い致します。

新人選手紹介コーナー

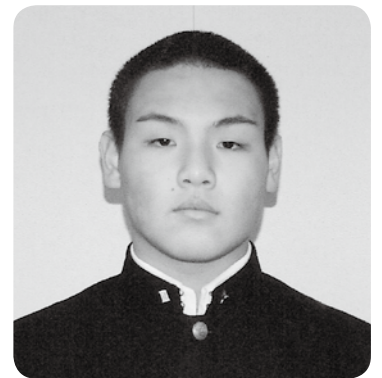
今年度もこのコーナーで紹介できる選手ができました。全国大会で3位までに入賞した若い選手を紹介しているコーナーですが、今年度は4名の選手を紹介することができます。

第41回全国中学校柔道大会男子90kg級で準優勝した佐藤和哉君(静岡学園中学校)、同じく第41回中学校柔道大会女子70kg超級で3位に入賞した滝川真央さん(沼津市立原中学校)、第59回全国高等学校総合体育大会柔道競技男子66kg級で3位に入賞した吉澤駿君(静岡学園高等学校)、そして最後は第59回全国高等学校総合体育大会柔道競技女子57kg級で3位入賞を果たした井口采美さん(静岡県立浜松商業高等学校)です。例年女子選手が活躍する例が多かったのですが昨年は男子選手が頑張り、今年も男女半分ずつとなりました。

佐藤和哉君が柔道を始めたきっかけは「父と何となく練習を見に行ったこと」だそうですが、その後の努力が報われて今回の全国大会準優勝につながりました。しかし、佐藤君は準優勝にも「嬉しさよりも悔しさの方が大きかったので、次は勝てるようにもっと努力したい」と前向きに入賞の感想を語っています。指導者からは「この成績に満足することなく、より一層の成長を願っている。柔道を通して心身共に大きな選手になってほしい」とさらなる飛躍を期待されています。

◎第41回全国中学校柔道大会
男子90kg級準優勝

佐藤和哉君
(静岡学園中学校)



滝川真央さんが柔道を始めたきっかけは「兄が友愛道場に入ったので一緒に入りました」ということで、お兄さんに誘われたようです。全国大会3位入賞の感想は「最後の試合で負けて3位だったけど、全部出し切ることができたので悔しなかったけど3位は嬉しかったです。全国大会で初めて入賞できて本当に良かった」と素直に感想を語っています。「将来は世界で活躍できる選手になり、オリンピックで金メダルを取ることで、また、警察官になり柔道を続けたい」という夢を持っているようです。

◎第41回全国中学校柔道大会
女子70kg超級3位入賞

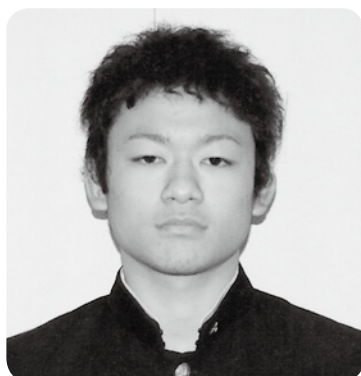
滝川真央さん
(沼津市立原中学校)



これから技をかける練習をし、メンタル面での強化も合わせて取り組んできた事の成果が出たものと思う。本人が納得できたことが良かったと思う」というコメントをいただいています。また、顧問の先生からは「全国大会優勝を目指し道場で練習してきた成果が今回の成績につながったと思う。苦戦しながらも勝ち進み、優勝まで後一歩というところで負けてしまっても、涙を流さず堂々としている姿はとてもすばらしいものでした」とお褒めの言葉をいただいています。

◎第59回全国高等学校総合体育大会柔道競技
男子66kg級3位入賞

吉澤駿君
(静岡学園高等学校)



◎第59回全国高等学校
総合体育大会柔道競技

井口采美さん
(静岡県立浜松商業高等学校)



吉澤駿君が柔道を始めたくっ
かけは「小学生のときに親に勧められた」ということだそう
です。全国大会3位入賞の感想
は「楽しんで試合をしていたら
結果が出ていた。これは今まで
やってきた練習の成果だと思
う。しかし、準決勝で負けたのは悔
しかったのでこれからも努力し、
大学でも全力で柔道を続けたい
と思った」と今後の進路も含め、
積極的な感想を述べてくれまし
た。全国大会レベルでの今後の
活躍が期待されます。

指導者からは「これから先も
高い目標を持って、練習稽古に
臨んでほしいと思います」とア
ドバイスを送られています。

女子57kg級3位入賞

井口采美さんが柔道を始め
たきっかけは「いとこが柔道をし
ていて、自分もやりたいと思っ
たから」ということだそう
です。全国大会3位入賞について
は「昨年のインターハイでは初
戦で負けてしまいました。今年
は初戦突破を目標としていたの
で、3位に入賞することができ、
自分でも驚きもありましたが嬉
しかったです。一緒に練習して
くれたチームの仲間、先生、先
輩方や家族、たくさんの方々
に感謝しています」と謙虚に語っ
てくれました。

今後は大学に進学する予定だ
そうです。顧問の先生からは「ひ
たむきにコツコツと努力をする
ことができる選手です。現在も
大学進学に備え、手を抜くこと
なく勉強と練習を頑張っていま
す。柔道の実力もインターハイ
のときよりさらに強くなってい
ると思います」という、井口さ
んの人柄が偲ばれるお褒めの言
葉を送られています。



武道協議会 創設10周年武道始め

静岡県武道協議会が創設され
て10周年となり、平成23年1月
8日(土) 県武道館にて記念講
演会が行われた。講師は東海大
学の山下泰裕先生だった。県内
の武道愛好家が集まり山下先生
のご講演を聞き、その後、各団
体(柔道・剣道・空手等9団体)
の演舞を見ることができた。

山下先生は柔道との出会いと
柔道によって多くのことを学ぶ
ことができたことを具体的に話
しをしてくれ、参加した子ども
たちにも十分伝わったことと思
う。

特に柔道関係者には講演後忙
しい時間を割いていただき、一
緒に記念写真を撮っていただき
など参加した子どもたちには良
い思い出になったことと思う。

午後の演舞には西部地区の道
場連盟に所属する子どもたちが
参加し、座礼から始まり打ち込
みや受身・乱取り等を披露し、
最後に投げの形を演じてくれた。
参加団体中の最後の演舞であり、
きびきびした動作で見事に全体
を引き締めてくれた。



演武中の小学生



開会式の様子

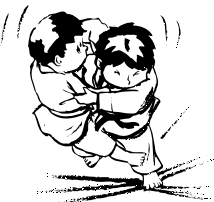


山下先生を囲んで

編集後記

柔道しずおか第14号をお届け
します。今年度もいろいろな事
がありました。特に印象に残る
のは村田先生の柔道教養講座の
開催でした。嘉納先生が始めら
れた講道館柔道の歴史を初めて
体系的に学ぶことができたと思
います。柔道を学ぶものは一度
は先生の講義を聴く必要がある
と感じました。

過去数年にわたり柔道勧誘の
ポスターを広報普及委員会とし
て作製してきましたが、今年度
は中止しました。来年度以降ど
うするか会員の皆様のご意見
をお聞かせください。各地区の広
報普及委員にお知らせください。
4月10日(日)に平成23年度
全日本カデ柔道体重別選手権大
会が県武道館で開催されます。
世界カデ柔道選手権大会の日本
代表選考会です。カデとは、平
成23年中に15~16歳になる選手
の部門です。成功するよう静岡
県柔道協会全体で頑張りますよ
う。



訃報

故 大塚 馨 五段

平成二十二年七月二十九日逝去
行年八十四歳



大塚先生は大正14年11月5日のお生まれで、旧制見附中学(現磐田南高校)から岐阜大学に進まれ、卒業後は静岡県公立高校の教員として勤務されました。農業の授業を担当され、磐田農業高校、農業経営高校で教鞭をとられ、周智高校の教頭先生として昭和61年3月に退職されました。

柔道部での指導を続けられ、ご退職後は、西部地区柔道協会の幹事として主に事務処理を担当され、地区の協会運営を長く支えていただき、参与をお願いしていました。柔道だけでなく、野球や駅伝等のスポーツ全般に造詣が深く、また趣味で短歌を作られる等まさに文武両道を実践された先生でした。

2005年に先生の作られた短歌を紹介します。

「生き得たる奇跡のごとく宵闇の庭に白百合の花暮れ残る」
(磐田市芸術祭会長賞受賞)
謹んで大塚先生のご冥福をお祈りいたします。

故 西島 温行 七段

平成二十二年八月九日
行年六十八歳



西島温行先生は大学ご卒業後静岡県公立高校の体育科教員として勤務されました。浜松商業高校、浜北西高校、池新田高校、下田南高校、浜松江ノ島高校、磐田北高校と6校で教鞭をとられました。柔道部の顧問として多くの県チャンピオンを輩出し、全国大会に多くの選手・チームを導かれました。先生の指導力は群を抜いていました。その間、高体連柔道部西部地区委員長、高体連柔道部県副委員長、県高体連理事、東海地区高体連評議員等を務められました。

ご退職後は、福田町の町会議員や磐田市の市議会議員となり政治の世界でも活躍されました。

柔道関係では地区・県の幹事等を務められると共に、磐田市柔道協会会長、柔道協会西部地区顧問、福田柔道クラブ師範などとして活動されてきました。68歳という若さでお亡くなりになり、今後のご活躍が期待されていたのですがとても残念です。謹んで西島先生のご冥福をお祈り申し上げます。

故 竹下 担 四段

平成二十二年九月三十日
行年六十六歳



竹下先生は浜松農工業高等学校(現浜松城北工業高等学校)において、故水野周徳先生に師事された後、浜松養神館に入門し、故佐藤五八郎先生(八段)の教えを受けられました。昭和55年以降、柔道スポーツ少年団の指導員を務められ、平成4年12月に浜松養神館理事長

に就任され、浜松養神館の運営と後進の指導を担当されました。浜松市スポーツ少年団理事として長年務められ、その発展に寄与されたことが評価され表彰されています。

また、静岡県柔道協会西部地区の幹事や参与を務められ、数多くの大会において審判等を務められ大会の運営に積極的に貢献されました。長年にわたり少年団柔道の育成にその情熱を注がれた先生でした。66歳という若さでお亡くなりになり、今後のご活躍が期待されていたのですがとても残念です。謹んで竹下先生のご冥福をお祈り申し上げます。

故 宮本 武幸 五段

平成二十二年十月八日
行年五十一歳



宮本先生は、昭和46年に引佐町立引佐南部中学校に入学され柔道を始められました。静岡県立引佐高等学校在学中も柔道部

で活躍し、昭和52年卒業と同時に引佐町士道会に入り、引佐町柔剣道スポーツ少年団の指導者になりました。引佐町士道会は柔道と剣道が武道の名のもとに一つになった団体で、スポーツ少年団の柔道を担当し、30年以上にわたり中心的な指導者として子どもたちの指導を担当されました。

また柔道協会では西部地区の幹事・参与を務められました。宮本先生は平成22年1月24日に行われた第60回記念士道会柔剣道大会で審判中に倒れられ、9ヶ月間の闘病の末51歳という若さでご逝去されました。柔道をこよなく愛した先生らしく、三十数年間選手として出場し、二十数年間引佐町士道会の大將として活躍された大会の畳の上で倒られたのがとても慰めです。心より宮本先生のご冥福をお祈り申し上げます。

